

平成29年11月16日

杉並区議会議長
富本 卓 様

道路交通対策特別委員会
委員長 松浦 芳子

道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成29年9月26日

(1) 報告聴取

ア 外環道の進捗状況について

(ア) 外環道の進捗状況

東名ジャンクションでは本線シールドマシン発進のための各工事が完了し、本格的な掘進に向けた後続設備の投入、組み立て等を行う初期掘進が行われている。また中央ジャンクションでは、ランプシールドの立杭工事などが進められており、さらに大泉ジャンクションでは、本線シールドマシン発進の立杭工事などが進められている。用地取得状況は、平成29年6月末時点の面積ベースにおいて、外環道全体で90パーセントとなっているとのこと。

(イ) 外環オープンハウス開催概要

平成29年7月29日から8月4日まで、6区市7会場で開催され来場者は計520名。杉並区では7月30日に井荻小学校で開催され、参加者は70名であった。主な内容は本線シールドトンネル工事や現在の進捗状況などについてであり、主な意見は外環の事業概要や現在の進捗状況などに関するものであったとのこと。

イ エイトライナー促進協議会の活動について

平成29年7月26日に、第24回総会が練馬区にて開催された。総会では平成28年度活動実績報告や平成28年度歳入歳出決算報告など4つの議案が審議され、全て議決されたとのこと。

また平成 28 年 4 月 20 日に国土交通省の交通政策審議会から新たな答申が示されたことにより、今後は東京都及びメトロセブン促進協議会と連携し、スマート・リニアメトロの需要調査などを引き続き検討し、既往の調査結果の整理を行う。答申で課題として挙げられた中量軌道システム等の検討に関しても、事業費の削減につながるか、既往の調査等の精査を行っていくとのこと。

そして区部周辺部環状公共交通整備の意義・必要性に関して、環状方向の交通強化や交通アクセスの改善などの関係 9 区へのアンケート調査の結果や、中量軌道システム等の特性についての調査結果を報告したとのこと。